



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2023年6月 - 第13号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ:結婚式

6月になりましたね。6月は英語で June と言いますが、皆さんは「ジューンブライド」をご存知かと思えます。6月は、日本だけではなく、様々な国で結婚式が多い月です。今月は、結婚式について書きます。



まず、なぜ6月に結婚式が多く開催されるようになったのでしょうか。その風習は古代ローマに起源があります。ローマ神話で、Juno(ユーノー)という女神は女性の結婚生活と出産を守護と言われていました。

ヨーロッパの色々な言語で、6月は「Juno」に由来します。例えば、英語の June、フランス語の Juin、スペイン語の Junio、ドイツ語の Juni、イタリア語 Giugno などが女神のユーノーに因んでいます。というのは、6月に結婚することで、花嫁にユーノーの加護が期待できるということです。それに、昔のヨーロッパ人は殆ど農家で、女性は6月に結婚し、すぐに妊娠すれば、夏と秋の農作物の栽培と収穫にはまだ参加することができ、春に赤ちゃんが生まれ、次の夏秋までには体を回復させることができました。ですので、6月の結婚式と妊娠は農業のスケジュールに影響を及ぼしませんでした。農家以外、現代の人は結婚式の日取りを決めるとき

に農業のスケジュールは意識していないでしょうが、6月の結婚式にし続ける理由は、気候は丁度良いからだと思えます。寒すぎなくて、暑すぎないですね。

日本でも教会で行う西洋風の結婚式が流行っていますが、日本の結婚式とアメリカの結婚式はだいぶ違うと思えます。まず、アメリカでは、ウェディングプランナーを使わずに、結婚式は全て自分たちで手配します。式場、司会者、写真家、花屋、食事、ケーキ、バンドや DJ など、カップル(主に花嫁)がネットか口コミで見つけて、一つ一つ予約します。節約のために、家族や友人にサービスを頼むこともあります。例えば、私の従弟の結婚式は、彼のお姉さんがウェディングケーキを作りました。そして、私の叔父さんは牧師なので、彼は自分の子ども 4 人全員の結婚式の司会をしました。そのような理由で、日本の結婚式と比べて、あまりかしこまった式ではなく、個性があって、DIY 感が強い結婚式が多いような気がします。



アメリカで 2010 年代に流行っていた naked wedding cake(裸のケーキ)。外側にクリームを付けないため、伝統的なケーキより DIY がしやすいです。従弟はこのようなケーキを作りました。



結婚式を挙げる場所も日本より自由に選びます。キリスト教の人は教会で式を挙げることも多いかもしれませんが、教会以外の場所でも式を行います。天気の良い季節は、外で式を挙げるのが大人気です。例えば、公園、庭、森、山、ビーチなどの自然に囲まれている結婚式は、記念写真で美しく写ります。



ワシントン州とオレゴン州の州境になっているコロンビア川峡谷での結婚式

もう一つの違いは、日本では、役所で婚姻届を提出し、入籍をしてから別の日に式を挙げるのが普通だと思いますが、アメリカでは、式を挙げる前に役所で marriage license (結婚許可書) という書類を取得しないとイケません。しかし、結婚許可書が手に入っても、正式な結婚になりません。結婚式の最中に新郎新婦が結婚許可書にサインし、司会者にもサインしてもらい、司会者が役所に完成した結婚許可書を提出することで、正式な結婚になります。アメリカの結婚許可書は日本の婚姻届と違い、お金がかかります。州によって手数料が変わりますが、50~150ドル位です。処理時間も州によって違います。申請した日に直ぐ手に入る州もありますが(例えば、駆け落ち結婚で有名なネバダ州ラスベガス市)、1週間もかかる州もあります。しかし、この制度の良い点は、結婚記念日が分かりやすいです。入籍と挙式を同時に行うので、結婚記念日を入籍日に合わせるか、挙式日に合わせるかという悩みがありません。



イギリスの結婚披露宴。新郎新婦が踊っています。

結婚式が終わったら、披露宴がありますね。アメリカの一般的な披露宴は新郎新婦の入場、乾杯あいさつ、ケーキ入刀とファーストバイト、ブーケトスという習慣があり、日本でも定番になっています。しかし、アメリカの披露宴は、日本と比べてとても長く、平均4~6時間もあります。アメリカの披露宴が長い理由は、ダンスパーティーがメインだからです。まず、新郎新婦のファーストダンスがあります。新郎新婦が思い出のある曲やいつまでも愛しているという意味の曲を選びます。その次は、「花嫁とお父さんのダンス」と「新郎とお母さんのダンス」です。この選曲もとても大事で、親子の絆を表す曲が人気です。この三つのダンスが終わったら、バンドやDJがリクエストを受け取り、ゲストは自由に踊れます。新郎新婦はもちろんゲストと一緒に踊り、交流します。日本と違って、基本的にお色直しをしないので、花嫁が踊れるように、ウエディングドレスのトレーンをボタンで留めて、邪魔にならないようにします。披露宴用の短い白いドレスに着替える花嫁もいます。披露宴は長いので、二次会はなく、夜遅くなったら、軽い食事を提供することもあります。



新郎新婦と wedding party (付き添い)。

ちなみに、日本語で披露宴を wedding party という人が多いと思いますが、これは和製英語です。英語で、wedding party というのは、新郎新婦に選ばれた付き添いの人達です。花嫁には maid of honor と bridesmaids がいて、新郎には best man と groomsmen がいます。この人達は、結婚式と披露宴の準備を手伝い、一日がスムーズに進むように新郎新婦をサポートします。バージンロードを歩く順番は、新郎、付き添い、新婦です。(バージンロードも和製英語です。英語では aisle、つまり通路と言います。) 挙式の時に、付き添いは新郎新婦の横に並んで最前列に立っています。披露宴の

時に、新郎新婦の前に紹介され、先に会場に入ります。Wedding party はとても大事な役割なので、新郎新婦は親しい友達や兄弟に任せます。そして、ドレスやスーツが新郎新婦に指定され、結婚式のテーマカラーとコーディネートされていることが多いです。



和装で写真を撮りました。

最後に、私の結婚式を紹介します。家族がアメリカと日本に住んでおり、どこの国で結婚式を開催しても来られない人が多いため、二人きりでハワイ州マウイ島で結婚しました。二人ともフォーマルな結婚式は挙げたくないと思い、シンプルで、美しい景色

を見ながら結婚式を挙げたいと思っていました。マウイ島にした理由は、日本人があまり行かなく、観光客が割と少ないからです。日本の海外ウェディング会社ではなく、現地の会社に手配してもらい、アメリカの結婚許可書制度で結婚ができました。日没時にビーチでの挙式や記念撮影など、日本では経験できない結婚式になりました。二人きりだったので、披露宴ではなく、有名なフランス料理を高級レストランで楽しみました。そして、私たちは結婚式がてらに、マウイ島の新婚旅行にも行けたため、節約ができました。日本に帰った何か月後に、夫の両親が少人数のお祝いパーティーをレストランで開いてくれました。日本にいる同僚や友人を中心に誘いました。8年前でしたが、結婚式とお祝いパーティーがとても大切な思い出です。★



人気のウェディングソング

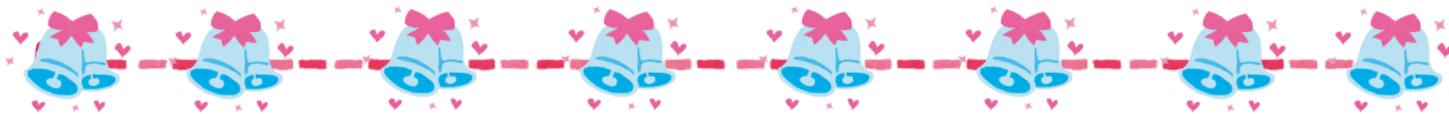
Diamonds Factory という結婚指輪オンラインショップが Spotify という音楽ストリーミングサービスのプレイリストを分析し、ウェディングソングのランキングを作りました。ベスト15は下記のとおりです。

1. Marry You – Bruno Mars
2. Love on Top – Beyoncé
3. Signed, Sealed, Delivered (I'm Yours) – Stevie Wonder
4. Thinking Out Loud – Ed Sheeran
5. I Wanna Dance with Somebody (Who Loves Me) – Whitney Houston
6. All of Me – John Legend
7. Everything – Michael Bublé
8. You Make My Dreams (Come True) – Hall & Oates
9. Perfect – Ed Sheeran
10. Just the Way You Are – Bruno Mars
11. Crazy in Love (feat. Jay-Z) – Beyoncé, Jay-Z
12. We Found Love – Rihanna, Calvin Harris
13. I Gotta Feeling – Black Eyed Peas
14. My Girl – The Temptations
15. A Thousand Years – Christina Perri

私の結婚お祝いパーティーソング

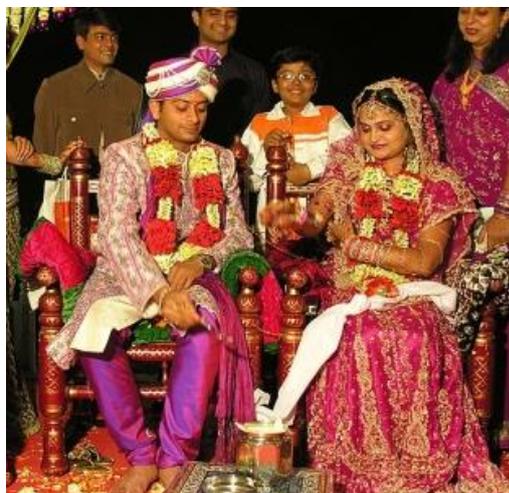
私と夫が選んだ結婚お祝いパーティーのBGM曲をいくつか紹介します。

- Stand By Me – Ben E. King
- Lovesong – The Cure
- Candy Rain – Soul For Real
- Treasure – Bruno Mars
- The Light – Common
- There Is a Light That Never Goes Out – The Smiths
- Ribbon in the Sky – Stevie Wonder
- This I Promise You – *NSYNC
- I Do (Cherish You) – 98 Degrees
- I Swear – All-4-One
- Never Gonna Give You Up – Rick Astley



結婚式の衣装

イギリスのヴィクトリア女王が 1840 年にアルバート王子と結婚した時、白いレースのドレスを着たことから、欧米では白いドレスを着ることが流行りましたが、他の国はどんな衣装を着るのでしょうか？



インド(ヒンドゥー教)



カンボジア



ベトナム



ナイジェリア(ヨルバ人)



スコットランド(best man と新郎)



インドネシア(ミナンカバウ人)



ガーナ(アカン人)

写真: irasutoya.com, Wikimedia Commons, bryllpsklar.dk, Aralani Photography, Craig Payne Photography, Mango Studios, Watabe Wedding, Simple Maui Wedding

お問合せ先
教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町24番地の6
Tel: 011-381-1049 Fax: 011-382-3434